

大きな憧れをいただく大草っ子



大草小学校だより 「ココロオドル」

第6号 平成30年6月28日(木) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「常 笑 大 草！」

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



そうめん うんまかぁ (^_^)

今年の大草小学校は、お天気に恵まれております。運動会もそうでしたが、先日開催された大草塾の「そうめん流し」では、朝から小雨、「そうめん流し」の時は薄日が差して、お昼からまた雨と、ギリギリではありますが、予定どおりに行うことができました。



今回の大草塾では、大人の学びもありました。竹を切り出したのですが、新鮮な竹が良いと判断した私たちは、今年育った若竹をそうめん流し用に準備しました。半円状に裂いた竹は、一日経つと節があるにもかかわらず、縮んで丸まってしまったのです。若くて柔らかい竹は、そうめん流し用には不向きであることを学びました。大草塾は子どもたちのためだけにあるのではないと思ったところです。それにしても、みんなでいただくそうめんは本当に美味しかったです。準備等、労を惜しまず御協力いただいた皆様ありがとうございました。



おたごき

金子みすゞ

空いっばいのお星さま、
きれいな、きれいな、おはじきよ
ぼらり、とおはじき、撒きまじた、
どれから、取ってゆきまじよか。

あ之星
はじいて
こう当って、
あれから
あ之星
こう取って。

取っても取っても、なくならぬ、
空のおはじき、お星さま。

「命」の授業

長崎県では、この時期に全小中学校において「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施しています。「命」が大切なものであることは当然のことですが、県内で発生した事件をきっかけに、より深く生命の尊さについて考え、二度と痛ましい事件が発生しないようにとの願いから取り組んでいるものです。



事件を振り返ることは、心が押しつぶされそうで、とても苦しいことですが同じ轍を踏まぬよう、忘れてはならないことであると考えます。大草小学校では、道徳教育において重点的に「生命の尊さ」の学習を推し進めております。その要となるのが道徳科の授業です。指導方法としては、読み物教材の登場人物に自分を投影させたり、道徳的な問題を一面だけの価値で捉えるのではなく、友だちとの議論などを通して多面的・多角的に捉えさせたり、授業に役割演技などの疑似体験を取り入れたりするなどの工夫をしております。週に一回の地道な授業ではありますが、学校生活全体に広がっていくように心がけております。そういう意味において「大草塾」の体験は、道徳科の学習の前後でも大いに生かされるものであります。学校以外の生活の場で学ぶ場となります。子どもたちは、体験の中で、「加減」（自分の言動がどの程度までなら許されることなのか。時と場合による言動の在り方など・・・）について実感をともないながら、また失敗を繰り返しながら学ぶことができます。そのためにも、学校・家庭・地域の子育てに関する共通の認識が大切であると改めて感じるところです。 「常笑大草！ 自信・挑戦・思いやり」

☆7月の主な行事予定 3のつく日は「えがおの日」

- 5日（木）委員会活動
- 7日（土）みどり保育園運動会(本校体育館)
- 11日（水）夏の交通安全県民運動～20日
給食費集金日～13日
- 16日（月）海の日 健全育成会（クリーン作戦、球技大会）
- 20日（金）1学期終業式
- 24日（火）保護者面談～25日



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。